



2023年9月11日

豊橋技術科学大学協力会に感謝楯を贈呈

～ 海外実務訓練への多大なる貢献 ～

<概要>

本学では、約450名の学部4年次学生全員が、必修科目として「実務訓練(6単位)」を履修します。12月に卒業研究を終えた4年次学生を、その直後の1～2月の2か月間(8時間×34日間)、約250の国内・海外企業(公的機関含む)に派遣します。学生は、各機関で実務を経験し、現場での課題に対して試行錯誤し解決する体験を通して、課題解決力や社会人基礎力などを身につけます。この「実務訓練」は、本学開学(1976年)以来、産学連携教育として継続されており、累計約17,500人の学生が履修しました。また、海外機関への派遣数は、2004～2023年度までの20年間で500人に達し、海外で貴重な経験を積んだ学生をグローバル社会に数多く輩出してきました。

この度、海外で研修や実務訓練を履修する学生への奨学金助成などの長年にわたる貢献に感謝し、豊橋技術科学大学協力会に感謝楯を贈呈しました。

■豊橋技術科学大学協力会(会長:松井孝悦(豊橋商工会議所副会頭))

大学開学直後の1979年に当時の豊橋商工会議所 神野信郎会頭の音頭の元、会議所が事務局となり発足しました。地元経済界が大学と協力を密にし、互いに連携しながら地域社会の発展に貢献することを目的とし、活動している団体です。現在は地元企業約60社が加盟しています。主な活動の1つとして、毎年、国際的な視野を持った技術者や研究者の育成のため、大学内で選抜された学生に対し、海外渡航費用の助成を行っています。

<詳細>

実務訓練を行う2か月間、学生は豊橋を離れ、それぞれの実習地で社員寮やホテル等に滞在し、実習に取り組みます。実務訓練にかかる経費(実習地までの交通費や滞在費等)は原則学生の自己負担となるため、特に海外での実務訓練を希望する学生にとって、奨学金は実習を行う上で大きな安心につながります。

本学は開学当初から、豊橋技術科学大学協力会より海外研修を行う学生への奨学金助成を受けており、多くの学生を海外に派遣してきました。特に2017年度からは、主に海外で実務訓練を行う学生への奨学金という形で支援を受けており、1980～2022年度の間、総計318名が助成を受け、海外で研修をしました。その長年の貢献に感謝の意を表し、2023年8月29日(火)に豊橋商工会議所にて行われた協力会総会において、本学理事・副学長 角田範義から協力会会長 松井孝悦氏へ感謝楯を贈呈しました。

2023年1～2月、この奨学金の助成により、韓国にて実務訓練を行った中田順也さん(機械工学専攻博士前期課程1年)は、同日、協力会総会に引き続き行われた「海外研修生報告会」にて海外実務訓練での自らの経験を振り返り、「初めての海外生活でしたが、奨学金のおかげで安心して渡航することができました。」と謝辞を述べ、続けて「得意分野を持つこ

とがグローバル人材になるために重要だと思う。この経験を活かし研究を深めていきたい。」と語りました。また、協力会の松井会長は、「今後も、海外で学ぶ技科大生を支援したい。」と支援の継続を表明しました。



写真1：(左) 協力会会長 松井孝悦氏 (右) 本学理事・副学長 角田範義



写真2：海外研修報告会で報告をする中田さん



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 岡崎・高橋

TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6509